学校番号	103

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習 （化学）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校化学」　（第一学習社）						
副教材等	アクセスノート化学基礎　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業では一年次の化学基礎で習得した知識を活用して、物質の変化の単元について深く学びます。そのため、基礎として一年次の内容をしっかりと復習した状態で授業に臨むようにしてください。1 週間に 1 度や各小単元毎に復習を行い、疑問点をそのままにせず学習を進めるようにしましょう。また授業で使用するプリントを綴じるファイルや授業・問題演習用のノートの準備をしておいてください。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の変化	物質量と化学反応式 ・原子量･分子量･式量 ・物質量 ・溶液の濃度	a:授業・実験などを通して、化学反応の量的関係を扱うために必要な基本的な知識を身に付けている。また、様々な化学反応について的確に考察するために必要な知識が身についている。 b:化学変化において成り立つ一定の量的関係を理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断することができる。実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理によって、結果を化学的に考察することができる。 c:様々な化学反応について関心を持ち、日常生活や身の回りの科学技術と結び付け探求することができている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 実験操作	定期考査 レポート 実験考察	授業観察 レポート ノート提出 実験態度
		物質量と化学反応式 ・化学反応の表し方 ・化学反応式の表す量的関係		定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 グループワーク	授業観察 グループワーク ノート提出
2学期		酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定		定期考査 確認ﾃｽﾄ 実験操作	定期考査 レポート 実験考察	授業観察 レポート ノート提出 実験態度
		酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤の反応 ・酸化還元の量的関係 ・金属のイオン化傾向		定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 グループワーク	授業観察 グループワーク ノート提出
3学期		酸化還元反応 ・電池 ・金属の精錬 ・電気分解		定期考査 確認ﾃｽﾄ 実験操作	定期考査 レポート 実験考察	授業観察 レポート ノート提出 実験態度
		酸化還元反応 ・電気分解		定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 グループワーク	授業観察 グループワーク ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度